

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月2日

上場取引所 東大

上場会社名 レンゴー株式会社

コード番号 3941 URL <http://www.rengo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大坪 清

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 飯田 誠

TEL 06-6223-2371

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	347,665	△1.1	28,770	126.2	27,180	136.0	15,008	81.5
21年3月期第3四半期	351,410	—	12,721	—	11,518	—	8,267	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	57.21	—
21年3月期第3四半期	31.57	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	509,896	161,083	30.6	581.20
21年3月期	457,263	140,778	29.8	520.49

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 156,051百万円 21年3月期 136,174百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期 (予想)				5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	455,000	1.9	31,500	107.1	29,000	122.8	15,000	91.5	56.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名 日本マタイ株式会社 ) 除外 1社 (社名 )  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年3月期第3四半期 | 271,056,029株 | 21年3月期      | 263,774,450株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年3月期第3四半期 | 2,557,004株   | 21年3月期      | 2,147,578株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 262,369,010株 | 21年3月期第3四半期 | 261,861,972株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年10月30日に公表いたしました業績予想を本日修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	279,000	△3.8	22,000	99.1	21,000	100.0	11,000	92.0	41.71

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、一昨年秋の世界経済の同時減速の影響を受け、輸出、企業業績、設備投資および個人消費は低迷するとともに、雇用情勢についても一段と悪化し、当期間後半において持ち直しの動きがみられたものの、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経済環境の中で、板紙業界、段ボール業界におきましては、一昨年秋以降の需要の減少に加え、夏の天候不順の影響もあり、生産量は前年を大きく下回りました。

紙器業界、軟包装業界におきましても、景気の低迷を反映し、生産量は前年割れとなりました。

以上のような状況の下で、当社グループは、製紙、段ボール、紙器、軟包装、海外のすべての事業分野において、より一層のコスト削減、生産性の向上に取り組み一方で、原燃料価格が低下したことから、昨年4月より段ボール原紙および段ボール製品の基準価格の引き下げを実施いたしました。

また、昨年5月には、グループの総合力強化を目指し、総合包装容器メーカーである日本マタイ株式会社に資本参加し、さらに昨年12月には、株式交換を行うことにより同社を完全子会社化いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は347,665百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は28,770百万円（同126.2%増）、経常利益は27,180百万円（同136.0%増）、四半期純利益は15,008百万円（同81.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりです。

## [板紙・紙加工関連事業]

板紙・紙加工関連事業につきましては、連結子会社の増加はありましたが、板紙および段ボール製品の販売量の落ち込みにより減収となりました。利益面では、適正価格の維持に努めるとともに、さらなるコスト削減を推進したことにより、増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は278,247百万円（同4.1%減）、営業利益は25,863百万円（同109.9%増）となりました。

## [軟包装関連事業]

軟包装関連事業につきましては、第2四半期から日本マタイ株式会社グループが加わったことにより、増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は55,326百万円（同33.0%増）、営業利益は2,461百万円（同106.3%増）となりました。

## [その他の事業]

その他の事業につきましては、不採算事業の整理により大幅な減収となりましたが、利益面では、その効果に加え、新聞用紙事業における原燃料価格の低下により、前年同期の営業損失から大きく改善しました。

その結果、当セグメントの売上高は14,091百万円（同28.7%減）、営業利益は347百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は509,896百万円となり、前連結会計年度末に比べ52,633百万円増加しました。資産、負債および純資産の主な増減といたしましては、日本マタイ株式会社を完全子会社化したこと等に伴い受取手形及び売掛金、有形固定資産、長短の借入金等が大きく増加しております。

自己資本比率は30.6%となり、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント上昇しております。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、政府の経済対策、対外経済環境の改善等により持ち直しが期待されるものの、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、景気の下押しリスクもあり、予断を許さない状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中、通期の売上高につきましては、主に、連結子会社である日本マタイ株式会社の決算期を2月から3月に変更して1ヶ月分の業績を加算することにより、公表予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましても、上記の増収に加えて原燃料価格が想定を下回り、また、生産性の向上および原価低減に努めた結果、公表予想を上回る見込みであります。

以上をふまえ、平成22年3月期の連結業績および個別業績につきましては、下記のとおり予想しております。

[通期の連結業績予想]	売上高	4, 5 5 0 億円 (前年比 1.9%増)
	営業利益	3 1 5 億円 (前年比107.1%増)
	経常利益	2 9 0 億円 (前年比122.8%増)
	当期純利益	1 5 0 億円 (前年比 91.5%増)

[通期の個別業績予想]	売上高	2, 7 9 0 億円 (前年比 3.8%減)
	営業利益	2 2 0 億円 (前年比 99.1%増)
	経常利益	2 1 0 億円 (前年比100.0%増)
	当期純利益	1 1 0 億円 (前年比 92.0%増)

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当社は、平成21年5月27日付で、日本マタイ株式会社の第三者割当増資を引き受け、同社を当社の連結子会社(特定子会社)といたしました。なお、当該子会社のみなし取得日を第1四半期連結会計期間末としたため、第2四半期連結会計期間より当該子会社の四半期損益計算書を連結しております。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①簡便な会計処理

###### たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

###### ②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,468	10,304
受取手形及び売掛金	138,774	112,703
商品及び製品	12,018	12,571
仕掛品	1,435	1,682
原材料及び貯蔵品	10,946	10,914
繰延税金資産	2,649	4,058
その他	6,687	3,728
貸倒引当金	△2,303	△1,254
流動資産合計	188,677	154,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,140	53,518
機械装置及び運搬具（純額）	73,203	72,038
土地	100,268	94,611
建設仮勘定	5,377	3,019
その他（純額）	5,170	4,108
有形固定資産合計	245,159	227,296
無形固定資産		
のれん	1,812	2,406
その他	6,496	6,209
無形固定資産合計	8,309	8,615
投資その他の資産		
投資有価証券	56,107	51,304
長期貸付金	819	326
繰延税金資産	1,580	5,830
その他	11,462	10,693
貸倒引当金	△2,219	△1,513
投資その他の資産合計	67,749	66,641
固定資産合計	321,218	302,554
資産合計	509,896	457,263

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,831	62,622
短期借入金	98,317	90,107
1年内償還予定の社債	5,750	5,550
未払費用	15,439	15,561
未払法人税等	2,884	5,575
その他	22,229	19,188
流動負債合計	220,452	198,606
固定負債		
社債	21,230	20,675
長期借入金	82,816	75,593
繰延税金負債	4,669	3,166
退職給付引当金	11,178	12,710
役員退職慰労引当金	801	764
その他	7,663	4,968
固定負債合計	128,359	117,878
負債合計	348,812	316,484
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,066	31,066
資本剰余金	33,997	27,442
利益剰余金	96,706	84,854
自己株式	△1,841	△1,613
株主資本合計	159,929	141,749
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,191	△3,579
為替換算調整勘定	△2,686	△1,995
評価・換算差額等合計	△3,877	△5,574
少数株主持分	5,032	4,603
純資産合計	161,083	140,778
負債純資産合計	509,896	457,263

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	351,410	347,665
売上原価	296,928	275,935
売上総利益	54,482	71,729
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	8,376	8,772
貸倒引当金繰入額	415	170
給料及び手当	12,320	12,991
退職給付費用	909	948
減価償却費	1,788	2,084
のれん償却額	452	458
その他	17,497	17,532
販売費及び一般管理費合計	41,761	42,959
営業利益	12,721	28,770
営業外収益		
受取利息	413	298
受取配当金	1,131	1,012
受取賃貸料	373	381
負ののれん償却額	144	229
持分法による投資利益	214	—
その他	1,105	1,151
営業外収益合計	3,383	3,073
営業外費用		
支払利息	2,067	2,149
持分法による投資損失	—	5
その他	2,518	2,508
営業外費用合計	4,585	4,663
経常利益	11,518	27,180
特別利益		
補助金収入	—	203
固定資産売却益	5,494	—
その他	822	354
特別利益合計	6,317	558
特別損失		
固定資産除売却損	484	434
投資有価証券評価損	533	368
固定資産圧縮損	713	—
その他	562	881
特別損失合計	2,294	1,685
税金等調整前四半期純利益	15,541	26,054
法人税、住民税及び事業税	5,232	5,968
法人税等調整額	2,272	4,206
法人税等合計	7,504	10,174
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△230	870
四半期純利益	8,267	15,008



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	板紙・紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	290,028	41,613	19,769	351,410	—	351,410
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	63	2	20,271	20,338	(20,338)	—
計	290,092	41,615	40,041	371,749	(20,338)	351,410
営業利益又は 営業損失(△)	12,320	1,193	△ 915	12,598	122	12,721

(注) 1 事業区分は製品の種類、性質に基づく市場、販売方法の区分によっております。

2 各事業の主な製品

- ・板紙・紙加工関連事業……………板紙、段ボール、段ボール箱
- ・軟包装関連事業……………軟包装製品、セロファン
- ・その他の事業……………紙器機械、枚葉印刷機、新聞用紙、化成品、不織布、運送、保険代理、リース、不動産、人材派遣

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	板紙・紙加工 関連事業 (百万円)	軟包装 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	278,247	55,326	14,091	347,665	—	347,665
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	477	489	14,351	15,318	(15,318)	—
計	278,724	55,816	28,443	362,984	(15,318)	347,665
営業利益	25,863	2,461	347	28,672	98	28,770

(注) 1 事業区分は製品の種類、性質に基づく市場、販売方法の区分によっております。

2 各事業の主な製品

- ・板紙・紙加工関連事業……………板紙、段ボール、段ボール箱
- ・軟包装関連事業……………軟包装製品、セロファン、容器
- ・その他の事業……………紙器機械、新聞用紙、化成品、不織布、運送、保険代理、リース、不動産

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および  
当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高に占める「本国」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)および  
当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報  
該当事項はありません。